

授業科目名	忍ヶ丘教養 I	教員名	渡邊耕二 城戸佐智子 中原邦博	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
					保育士	
					こども音楽療育士	
科目番号	SIN101	配当年次	1年前期	卒業要件	小幼コース	必修
授業形態	講義				幼保コース	必修
単位数	2単位					
科目						
各科目に含める 必要事項						
科目						
施行規則に 定める科目区分						
科目						
系列						
一般目標	<p>1年次から2年次までの2年間4期に渡って開講される忍ヶ丘教養 I～IVでは、学校法人宮崎学園の建学の精神「礼節・勤労」に則り、豊かな教養と高度な技能を備えた人材を育成するために、大学での学びの基礎を学習し、コミュニケーション能力に優れた教育者となるための基盤を身につけることを目標とする。さらには、地域社会から国際社会にまで広く貢献できる教員となるために必要な基本的知識・技能及び人格形成を目指す。これらの目標を達成するため、忍ヶ丘教養では「大学での自主的・継続的な学習能力の修得」、「コミュニケーション能力の修得」、「地域・国際社会における教育の理解と教育者としてのキャリア形成」の各教育目標を達成するための授業を行う。</p> <p>このうち、忍ヶ丘教養 I は、「大学での自主的・継続的な学習能力の修得」と「コミュニケーション能力の修得」をテーマとしており、以下の4つの到達目標を設定する。</p>					
到達目標	<p>(1) これからの大学生活を過ごす上で必要な大学教育の基本的事項に関する情報を修得する。  (2) 教職課程のカリキュラムを効率的に学習する上で必要な教育資源を活用する技術を修得する。  (3) 自主的、継続的な学習を進めていく上で必要な学習方法・学習スキルを修得する。  (4) 正しい日本語を運用し、自分の意見の論点をまとめて論理的に相手に伝えることができる。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている、2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている、3. 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授業の概要	<p>授業の構成は、大きく4つに分かれる。①今後4年間の学びの場となる宮崎国際大学教育学部の概要や受講規則、大学生として期待される行動、大学における教育資源の活用方法について学ぶ。②正しい日本語を運用する力は、大学での学び、優れた教育者となる基盤になる。正しく日本語を運用し、自分の意見や論点を分かりやすく書く・話すことを学ぶ。③ノートの取り方やテキストの読み方、レポートの書き方など、高校までとは異なり、大学の授業を受講する上で必要になる基本的な学習方法・学習スキルの獲得を目指した初年次教育の内容を学習する。④プレゼンテーションのテーマに対して、自分の主張を相手に分かりやすく伝えるための資料作成とプレゼンテーションの方法を学ぶ。</p> <p>・（渡邊耕二／7回）</p> <p>今後4年間の学びの場となる宮崎国際大学教育学部の概要や受講規則、大学生として期待される行動、大学における教育資源の活用方法について学ぶ。また、正しい日本語による書く力と話す力の必要性を理解し、自己流に陥らない書く力の基礎（主題が明確である文章、間違いがない文章、言</p>					

	<p>いたことが端的に表現されている文章) について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (中原邦博/4回) 大学の授業を受講する上で必要になる基本的な学習方法・学習スキル (ノートの取り方やテキストの読み方、レポートの書き方) の獲得を目指した初年次教育の内容を学習する。</li> <li>・ (城戸佐智子/4回) 第1回から第11回までに修得したことを活用できることを目指し、グループに分かれて、テーマに対して、分かりやすい資料を作成し、プレゼンテーションを行う。 各授業は、プレゼンテーション、グループディスカッション、ディベート等のアクティブラーニングを取り入れる。</li> </ul>
<p>履修条件・ 注意事項</p>	
<p>授業計画</p>	<p>(担当：渡邊耕二)</p> <p>第1回：法人宮崎学園及び宮崎国際大学について沿革や建学の精神を知る (目標1)</p> <p>第2回：宮崎国際大学教育学部の教育カリキュラムについて知る (目標1)</p> <p>第3回：大学での生活において注意しなければならないことや身につけて欲しいことを理解する (目標1)</p> <p>第4回：日本語を正しく書く力と話す力の必要性を理解する (目標4)</p> <p>第5回：分かりやすく簡潔な文章 (主題が明確である文章、間違いがない文章、言いたいことが端的に表現されている文章) について理解する (目標4)</p> <p>第6回：分かりやすく簡潔な文章の例を調べ、書く力を向上する方法について学ぶ (目標3、4)</p> <p>第7回：課されたテーマについて文章を書き、推敲を重ね、書く力を実践的に高める (目標3、4)</p> <p>(担当：中原邦博)</p> <p>第8回：図書の探し方や借用の方法など宮崎学園図書館における基本的な利用方法について理解する (目標2)</p> <p>第9回：高校までとは異なり、大学の授業では自主的にノートをとることが求められる。大学における講義ノートの作り方について、具体的事例を学び、自分のノートの作り方を知る (目標2)</p> <p>第10回：大学の取り扱われる授業のテキストの読み方を、大学で読む文章の特徴と合わせて理解する (目標2)</p> <p>第11回：図書の探し方や借用の方法など宮崎学園図書館における基本的な利用方法について理解する (目標2)</p> <p>(担当：城戸佐智子)</p> <p>第12回：日本語の運用力として話す力の重要性を振り返り、グループに分かれ、プレゼンテーションのテーマを設定する (目標3、4)</p> <p>第13回：各グループで、プレゼンテーションに向けて資料を収集し、発表資料の作成を行う (目標3、4)</p> <p>第14回：分かりやすいプレゼンテーション資料の作成に向けて、資料を推敲する (目標3、4)</p> <p>第15回：プレゼンテーションを行い、分かりやすく日本語を話す力を高める (目標3、4)</p> <p>定期試験</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>到達目標1～4の到達度を評価するために、定期試験 (70%) とレポート (30%) を総合的に評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コメントを記載して返却する。</li> <li>・ 授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・ 答案例を配布する。</li> </ul>

<b>時間外の学習 について</b>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと)</p> <p>事前学習：毎回次回の予告を行い、課題を提示するので、予め調べておくこと。</p> <p>事後学習：学習内容を自分の言葉で他者に説明できるようになるよう努めること。授業の冒頭で前回の授業内容についての説明を求める。</p>
<b>教材にかかわる 情報</b>	<p>テキスト：適宜資料を配付する</p> <p>参考書：田中共子『よくわかる学びの技法』ミネルヴァ書房 成川豊彦『成川式文章の書き方』PHP研究所</p> <p>参考資料等：特になし</p>
<b>担当者からの メッセージ</b>	<p>高等学校までの学習とは異なり、大学においては自学自習が基本となる。本講義では大学生活を楽しく、しかし将来自分が目標とする教員となるためには多くのことを学ぶ必要があることをしっかりと理解して欲しい。</p>
<b>オフィスアワー</b>	<p>渡邊 耕 二：木曜日 15：00～17：00 Email: kwatanabe@edu.miyazaki-mic.ac.jp</p> <p>城戸佐智子：金曜日 13：00～16：00 Email: skido@edu.miyazaki-mic.ac.jp</p> <p>中原 邦 博：木曜日 13：00～16：10 Email: knakahara@edu.miyazaki-mic.ac.jp</p>
<b>備考</b>	